

# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

116

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

＊発行責任者：会長・染井佳夫(04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司(090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2018. 12. 29

明けまして おめでとうございます

**今年、「石川家の人々」を読む会は10周年を迎えます！**

『喜寿の安登』読了後は、石川(阿部)ハツレポート「労働婦人—製糸女工について—」

これまで続けてきた『喜寿の安登』(石川和助の自伝)の読了が近づいてきたことから次に取り組むテキストについて話し合った結果、①石川(阿部)ハツが青山学院神学部女子部在学中に夏休みレポートとして提出した「労働婦人—製糸女工について—」を採用することとしました。2017年度の「石川組製糸ものがたり」展では同レポートの実物(下条幸恵氏蔵)が展示されました。『石川家の人々』には活字化された同史料が収録されていますので、実際の例会では、そのコピーを使用することになります。



『女工哀史』(細井和喜三著)、『わたしの「女工哀史」』(高井としを著)、「職工事情」(農商務省)等様々な傍証資料も併せて読みながら学んでいければと思

▲教会のオルガン奏者だったハツ

います。また、石川三郎氏による『余滴』からも順不同で毎回報告を受けることになりました。

【「…いかす会」と合同の忘年会を行いました】12/16(土)の夜、レストラン“ジャイプール”で「入間市の文化遺産をいかす会」と合同忘年会が行われました。参加20名でした。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 1月29日(火) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『喜寿の安登』p.76 第62節 「退隠教職 報告者：発智金一郎 氏

\*2月の予定表をお持ちよりください。

- NPO 上武絹の道ネットワーク(佐滝剛弘氏ら)西洋館を来訪予定 2019年2月19日。
- さいたま絹文化フォーラム vol.4 in 川越 2019年3月9日(土)13:00~16:00  
基調講演：「時の鐘再建と横浜生糸商人 原善三郎・茂木惣兵衛・平沼専造」横浜市史資料室 平野正裕氏 他 \*交流スペースにて県内絹文化関連団体のパネル展示も予定  
定員：100名(事前申し込み要) 参加費：会員無料(一般500円/当日入会者は無料・会員会費1,000円/年) 申し込み 2月1日より FAX(049-277-8941)または e-mail( shamusho@hikawa.or.jp )にて受付(会員優先で定員になり次第締め切り)

「100年名家」BS 朝日1/13(日)  
12:00~12:55 旧石川組製糸西洋館が紹介されます！  
八嶋智人・牧瀬里穂が訪問します。





# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

117

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2019. 2. 4

### 牧師退隠後の石川和助の活動について発智金一郎氏が報告

“行為”で伝道，“わが家”（小仙波）の人々，“東洋と米山梅吉”，「和助・発智庄平と埼玉の廃娼運動」「キリスト者加東田教美と日本弘道会」について興味深い報告！

報告者の発智金一郎氏は、『石川家の人々』だけでなく埼玉育児院に遺る「院誌」（業務日誌と加東田教美を初めとする院長の日誌としての性格を持つ史料）等を読み込まれて、とても興味深い報告をされました。

報告を受けた討議の中では、日本弘道会（元文部官僚西村茂樹が創立した儒教的立場に立った道徳普及団体）とキリスト者加東田教美（士族出身の教育者）が深いつながりを有していたことに驚きの声があがりました。加東田は日本弘道会の機関誌『弘道』に度々寄稿しています。）昭和10年4月26



石川和助・千代子と子どもたち

日に加東田が石川和助を訪ね、「ユダヤ人問題の研究」を依頼していた、という「院誌（埼玉育児院の業務日誌）」への記述は、どんな意味や意図を

以てなされたものか…、とても気になります。当時の日本における「ユダヤ人問題」とは……

父の繁田満擬・弟の繁田武平とともに日本弘道会の有力支援者だった発智庄平の末裔である金一郎氏ならではの力の入った、広がりを感じられる報告でした。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 2月26日(火) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『喜寿の安登』巻末「石川千代子歌集『松能見登里』」まつのみどり 報告者：染井佳夫氏

\* 3月の予定表をお持ちよりください。

NPO 上武絹の道ネットワーク(佐瀬紙5)西洋館を来訪予定 2019年2月19日10時頃.

・さいたま絹文化フォーラム vol.4 in 川越 2019年3月9日(土) 13:00~16:00

基調講演：「時の鐘再建と横浜生糸商人 原善三郎・茂木惣兵衛・平沼専造」横浜市史資料室 平野正裕氏

他 \*交流スペースにて県内絹文化関連団体のパネル展示も予定 定員：100名(事前申し込み要) 参加

費：会員無料(一般500円/当日入会者は無料・ 会員会費1,000円/年) 申し込み 2月1日より

FAX(049-277-8941)または [shamusho@hikawa.or.jp](mailto:shamusho@hikawa.or.jp) へ(会員優先で受付定員次第締切)

### 自由学園の一般公開があります

・期日 2019. 5. 19(日) 10:00~15:30

「自由学園南沢フェスティバル(学園公開)」

・当日参加が「…いかす会」総会との関係で無理の場合は他日 に企画



学園内に点在する遠藤新の建築



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

118  
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

＊発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当

発行：2019. 2. 28

### 2019.2月例会で染井佳夫氏が石川和助の妻千代子について報告

#### 新島譲の協力者・安中教会執事荻原洲平の長女千代子の人望と影響力！

報告者の染井佳夫氏によれば、石川千代子(1870~1932)氏は新島裏より洗礼を受けた誠実なキリスト者で群馬県安中教会の執事荻原洲平氏の長女として生まれ、同教会で海老名弾正から受洗した。洲平は碓氷郡長より信任を受けて土鹽(ひしお)の戸長に任じられており、安中教会の敷地を提供していただいたが決して裕福な家ではなかったという。



石川(旧姓荻原)千代子

しかし、洲平は教育熱心だったようで安中小学校を卒業した千代子を、磯部・土鹽からの二人の娘とともに東京築地の海岸女学校(後に東京英和学校他と合同して青山学院となる)へ進学させている。

和助の妻となっても、石川家の女性たちを始めとした多くの人々にも影響力があった。特に、原ノ町

工場への赴任に迷いのあった石川(旧姓高篠)保次郎が、千代子に贈られた、下記はらの町 住みて都となし給へ のちの世人の為を思ひて の歌に背中を押されて福島県へと旅立っていったことは、その好例と言えるものだった。



石造りの安中教会 隣接して新島学園 や 記念館・資料館も建っている

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 3月26日(火) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『喜寿の安登』巻末「石川千代子歌集『松能見登里』」p.91~ 報告者：発智金一郎氏

\*4月の予定表をお持ちよりください。

・さいたま絹文化フォーラム vol.4 in 川越 2019年3月9日(土) 13:00~16:00  
基調講演：「時の鐘再建と横浜生糸商人 原善三郎・茂木惣兵衛・平沼専造」横浜市史資料室 平野正裕氏 他 \*交流スペースにて当会を含む県内絹文化関連団体のパネル展示 定員：100名(事前申し込み要)  
参加費：会員無料(一般500円/当日入会者は無料・会員会費1,000円/年) 申し込み 2月1日より FAX(049-277-8941) または shamusho@hikawa.or.jp へ(会員優先受付定員になり次第締切)

### 自由学園の一般公開を見学します！

・期日 2019. 5. 19(日)「自由学園南沢フェスティバル」

・当日集合西武池袋線ひばりが丘駅改札口に10:30 昼食は学食でとります。当日、諸経費として100円/お1人申し受けます。



学園内に点在する遠藤新の建築



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

119  
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 3. 31

### 2019.3月例会で発智金一郎氏が『喜寿の安登』付遍最終ページまでの和歌について報告

#### 昭和9年～13年の和助の想い・交友、世情を反映した95首から読み取れること!

石川和助は亡妻千代子(1870~1932)を偲んで、また愛児を亡くした友人・妻を失った教友・渡米する知人の子女のために、そして先覚者の偉業や自然の神秘・神の恩寵や教会・先輩牧師の活動を讃えて多くの和歌を詠んでいます。儒教道徳に立つ明治知識人の常として古典・漢文の素養のあった和助氏の詠む和歌には古典的な技法が多々見られます。「……とのみかは」「……思いぞきよみ……」「……碑にぞ傳はる」といった和歌の技法は百人一首等にも見られます。

三年<sup>みくに</sup>こし<sup>と</sup>過ぎにし者を偲ぶれば思ひぞきよみ天国おもはるには亡き妻への想いが読み取れます。

また、武夫も佛心に手向けむ八幡平の首塚の跡や、谷底の貝と化石の物語る造化の神業妙にくすしきには神と自然や歴史への畏敬の念が見られます。

さらに、昭和12年には来日したヘレン・ケラー女史の手話講演に東京盲学校講堂で接し、みさかえを誰かたたへぬ三重のなやみにかてるひともある世ぞと詠み、渋沢栄一が支援する崎山比佐衛の海外植民学校の卒業式にあたりえらばれし民とおもへば往く先になやみありともなど恐るべきと励ましています。(王子の渋沢栄一邸における海外植民学校卒業記念写真/石川家蔵/本紙第16号, 71号より再掲を参照)



### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 4月18日(木) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 ①『労働婦人』p.119~ 報告者：齋藤祐司氏 ②『余滴』より任意の項：三浦久美子氏

\*5月の予定表をお持ちよりください。

#### ・次回例会からのテキストは①石川(阿部)ハツ Report「労働婦人」②「余滴」(石川三郎氏)

次回例会からのテキストは上記①②となります。合わせて78ページですが、例会に参加する会員の方には実費でお頒けします。例会に出て受け取ってください。しばらく例会に出席出来ない場合等は、入間市博物館 ALIT (04-2934-7711) の三浦久美子さんか染井(題字下の連絡先参照)までご連絡ください。

#### 石川家にも縁の自由学園の一般公開を見学します!

・期日 2019. 5. 19(日)「自由学園南沢フェスティバル」

・当日集合：西武池袋線ひばりが丘駅改札口に10:30 昼食は学食でとります。当日、諸経費(参加会員からのお土産代に充てます)として、100円/お1人申し受けます。



学園内に点在する遠藤新の建築



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

120

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 4. 25

### 2019年4月例会(4/18)報告 齊藤祐司氏が「労働婦人」(阿部ハツ)について報告

#### 『日本の下層社会』(横山源之助), 『職事情』, 『女工哀史』を併読・紹介!

去る18日の4月例会では、報告者の齊藤祐司氏が多忙な家庭事情をおして、阿部(石川)ハツレポート「労働婦人」に関しての報告を行いました。報告は、「労働婦人」と構成を一にする(その目次に従ったとハツが書いている。p120)細井和喜蔵著『女工哀史』や『職事情』からも詳細なデータを取り、「労働婦人」に記された石川組製糸における製糸工女の実相と比較していこうとするものでした。こうした作業を例会毎に積み上げていく

職事情  
[日]  
文庫 109



文庫 109

日本の下層社会



文庫 109

女工哀史



文庫 135

『職事情』『…下層社会』『女工哀史』ともに岩波文庫 ことにより、明治・大正・昭和における工女労働から日本社会の実相の中に石川組製糸の労務経営が客観的に明らかになっていくことと思います。

なお、中古本なら『職事情』は上中下巻セットで1000円～、『日本の下層社会』は30円～、『女工哀史』は1円～といった比較的安価で Amazon から購入できます。手に入らなければ染井からお貸しできます。「余滴」報告は次回に延期・再報告となりました。



横山源之助

\* 報告前に、会計の三浦久美子氏から前年度の決算・監査報告と今年度予算案が提案一了承されました。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 5月24日(金) 18:30～

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 ① 石川洋行板戸墨書 報告者：日比保紀氏 ②『余滴』より任意の項：三浦久美子氏

\* 6月の予定表をお持ちよりください。

### ・例会テキスト①石川(阿部)ハツ Report「労働婦人」②「余滴」(石川三郎氏)コピー頒布中!

上記例会テキスト①②は合わせて78ページですが、会員の方に実費でお頒布します。例会でお求めください。出席出来ない場合等は、入間市博物館(04-2934-7711)の三浦さんか染井(題字下に連絡先)までご連絡ください。

### 石川家にも縁の 自由学園の一般公開を見学します!

- ・ 期日 2019. 5. 19(日)「自由学園南沢フェスティバル」
- ・ 当日集合：西武池袋線ひばりが丘駅改札口に10:30 昼食は学食でとります。当日、諸経費(参加会員からのお土産代に充てます)として、100円/お1人申し受けます。



学園内に点在する遠藤新の建築

本号発行月で創設10年となる本会は、今年度中に10周年記念グッズ作成一配付を企画中です。アイデアや御意見をもちの方は本会役員(題字下に連絡先)までお寄せください。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

121  
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須西公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 5. 26

### 2019年5月例会(5/24) 日比保紀氏が「石川洋行母屋板戸の墨書」、三浦久美子氏が「余滴」より報告 立ち寄った文人の痕跡を示す板戸墨書 ,水と石炭から考える生系の生産と工場配置等!

石川洋行母屋一階板戸墨書について

莫讀書莫讀書直施五車今  
何如請君為我費却離賦我亦為  
君壁碎太極圖竭未相就飲斗  
酒聽我仰天歌鳥々  
深衣大帶講唐侯不如長纒祭  
單于吮毫羽管賦子慮不如快鞭  
躍的慮君不見前年賊兵破巴  
論今年賊兵屈成都風塵頹  
洞今豺虎塞塗殺人如麻糸流血  
半湖岸山書院漸峭馬驚恐  
半堂巢妖狐何人鞭中行何人騎可  
計何人九汲封函何人三箭定天山  
大寇好策分胡朝支頗牧談回  
軻今夕講滙稼伊綬並字印累々  
九州博太尊異上何之子台占確地  
僕姑奉鉄須講部侯慕我我當贈君  
以堪露青庫刺君上報我以本心  
白雀之族好殺賊奴取金被何以區々  
章句為死諸葛等能走沖蓬  
把孔子等執斥歲夷應願馬々  
使我心不怡專說書成書癡

大正八年六月六日 窓  
書于秋善講堂  
八十四翁 香石

「読書(ばかり)してはダメだ……(本ばかり読んで)世の中を知らぬ“書痴”になってはいけない」という意味のようです。山岡鉄舟も「七行書」という作品にこの詩を取り上げているようです。報告者の日比氏は丁寧な作業で難解な漢詩の解読と解釈に取り組みました。

また、『余滴』から“水”“石炭”に注目して解説レポートを行ったのが三浦久美子氏。一昨年の「石川組製糸ものがたり展」にむけて制作された工場配置図の詳細な解説は今後の活用が期待されます。(基本会員に配付)

また、現在洋行敷地に建つ2本の石柱が本店工場の門の一部であったことが分かるという大発見がありました。

### 5. 19(日)自由学園献歳フェスティバルを見学しました!

正門至近の「戦没卒業生慰霊碑」には第1回生の石川安次氏の名前も刻まれています(写真右上)。図書館で主任研究員の村上氏から説明を受けた(写真右下)後、広大な学校内を案内して戴きました。

昼食は男子部の食堂でいただきました。

- ・当日参加者：石川洋子・忍足ユミ・齊藤祐司・染井佳夫・玉井康夫・袴田正毅・藤井のり子・山戸壽子/石川恵子・南波正仁・野勢秀隆(ノ以降は「入間市の文化遺産をいかにす会会員 氏名は50音順で敬称は略)



### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 6月20日(木) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 ①「労働婦人」p.121「2. 女職」~ 報告者：平田光洋氏 ②『余滴』より：次回はお休み

\* 7月の予定表をお持ちよりください。

【お詫びとお願い】本紙は創刊以来染井佳夫が作成し、会員の皆様のご協力も得て配付して参りましたが、6月の手術・入院とその後7,8月に再入院を予定のため今後数号にわたり、編集・配付が不可能となりました。取り敢えず博物館勤務の平田光洋氏が代行することになりましたが、その間は全て郵送でお届けします。復帰後は、また配付協力等よろしくお願いいたします。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

122  
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2019. 7. 4

## 2019年6月例会 平田光洋氏が「労働婦人」より報告



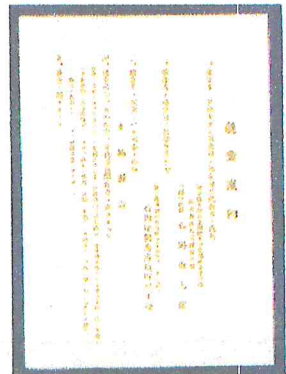
去る6月20日(木)、石川洋行において、「石川家の人々」を読む会の例会が開かれ、平田光洋氏により「労働婦人」121ページ「2. 女工募集」に関するレポートを発表しました。発表後は出席者による活発な意見交換が行われました。

左写真・例会の様子 石川洋行

発表では、まず、「労働婦人」の記述に関連する事項を、石川組製糸所が大正時代に発行した資料である『製糸のすゝめ』と『石川組製糸所扇町屋工場 就業案内』で確認しました。これらは「労働婦人」より10年以上前の史料ですが、女工の勤続年数に併せて会社から送られる奨励品や募集の方法には「労働婦人」の内容と近い記述が見られました。

さらに、『女工哀史』や『日本の下層社会』、『職事情』などの書籍から、女工の募集に関する記述を抜き出し、「労働婦人」の記述との比較を行いました。上記の3書は、主に明治期までの労働者の様子を記しており、昭和10年代に著された「労働婦人」の内容と比較できない部分もありますが、一般的に認識されている女工達の過酷な労働環境と石川組で働く女工達との違いを知る事ができました。

「労働婦人」内には『女工哀史』を意識した記述が多く見られます。そこからは、工場や女工に関する率直な現状や問題点を示しながらも、『女工哀史』的な工場とは違う石川組製糸の現状を正しく記そうという、著者石川ハツの気持ちが見て取れます。



石川組製糸所扇町屋工場 就業案内  
(大正15年)

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 7月31日(水) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 ① 石「労働婦人」p.122 報告者：山戸 壽子 氏 ②『余滴』より任意の項：未定

\*8月の予定表をお持ちよりください。

・例会テキスト①石川(阿部)ハツ Report「労働婦人」②「余滴」(石川三郎氏)コピー頒布中！  
現在の例会テキストは上記①②となります。合わせて78ページですが、例会に参加する会員の方には実費でお頒布します。例会に出て受け取ってください。しばらく例会に出席出来ない場合等は、入間市博物館 ALIT(04-2934-7711)の三浦久美子さんか染井(題字下の連絡先参照)までご連絡ください。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

123

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

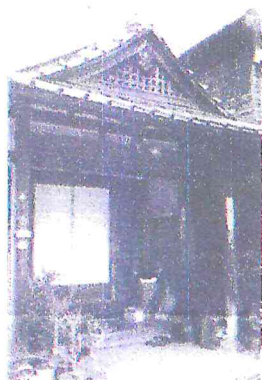
\* 発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齊藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当

発行：2019. 8. 4

## 2019年7月例会実施される

山戸氏の発表では、石川組製糸所が大正時代に発行した資料『石川組製糸所扇町屋工場 就業案内』と、『女工哀史』『日本の下層社会』『職事情』の3書から、同じような内容が記載されている部分を抜き出し、労働内容に関する比較を行いました。また、他の製糸会社の事例として『グンゼ100年史』に記された郡是製糸の状況も併せて確認しました。『職事情(上)』に記された明治34年(1901)の調査によれば、1日の労働時間が17時間、18時間に達する場合もあったという事で、極めて過酷な労働環境を窺い知る事ができました。その後、大正5年(1916)に施行された工場法により、1日の労働時間は12時間以内と定められ、さらに大正12年の法改正で11時間以内となりました。「労働婦人」は昭和10年代に書かれた文章であるため、上記3書が成立した時代とは労働基準が変わっている事を考慮する必要があります。しかしその中でも、「労働婦人」当時の石川組製糸所は夜勤もなく労働時間も他の工場と比べて短い点を山戸氏は指摘しています。その背景には石川家家訓の一節にある「仕事の単調を避けよ 勤労と休憩を適度にせよ 健康者も疲労の後には閑所に休息する事を心がけよ」という精神があるのではないかと推察しました。

去る6月20日(木)、石川洋行において、「石川家の人々」を読む会の例会が開かれ、山戸壽子氏が「労働婦人」122ページ「3. 労働について」に関するレポートを発表。さらに石川洋子氏が「余滴」より「7 石川の屋号(家号)」に関するレポートを発表しました。



【左・上 写真】  
石川虎三・なか(別荘)宅の玄関  
『石川家の人々』P.441より

続けて、石川洋子氏により行われた『石川余滴』『石川の屋号(家号)』に関するレポート発表では、『石川家の人々』の記述を中心としながら、石川各家の紹介を行いました。洋子氏の祖父 石川権吉氏に関する様々なエピソードや、かつて西洋館の隣にあった「別荘」の建物の様子など、ご自身も石川家の一員である洋子氏ならではの興味深いお話が伺えました。

たくさんの屋号からは、家族の繋がりを広めて経営を拡大していった石川組製糸所と石川家の姿が思い起こされました。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 8月27日(火) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須1-10-31 ☎04-2962-3420)

2. 内容 ①石「労働婦人」p123 報告者：斎藤 祐司 氏 ②『余滴』より任意の項：藤井 のり子 氏

\*9月の予定表をお持ちよりください。

・例会テキスト①石川(阿部)ハツ Report「労働婦人」②「余滴」(石川三郎氏)コピー頒布中！

現在の例会テキストは上記①②となります。合わせて78ページですが、例会に参加する会員の方には実費でお頒けします。例会に出て受け取ってください。しばらく例会に出席出来ない場合等は、入間市博物館 ALIT(04-2934-7711)の三浦久美子さんか染井(題字下の連絡先参照)までご連絡ください。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

124  
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 9. 1

2019年8月例会(8/27) 藤井のり子氏が「石川家の庭園」について「余滴」より報告

西洋館を囲む広大で起伏に富んだ敷地に多くの植栽と茶室，“あすまや”，滝や橋までも！

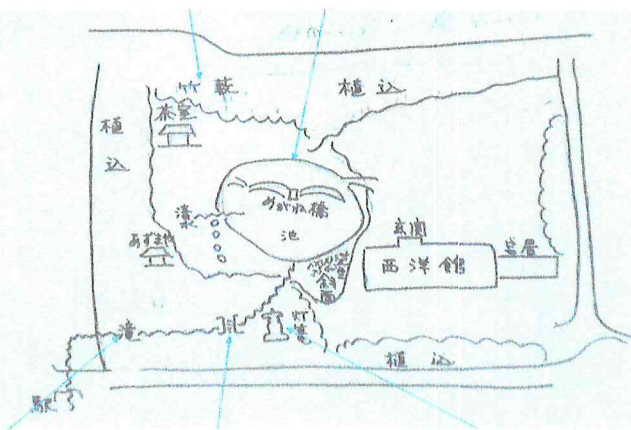
報告者の藤井のり子氏は、石川三郎氏からの聞き取り(甲府訪問時)結果や、入間市博物館紀要第3号所収の安部清子論文「黒須、石川家西洋館付随の茶室」や『石川家の人々』に収録された阿部とく江(旧姓石川)氏の回想等を参考にして右図(石川三郎氏作)に記された様々の構築物等について詳述した貴重な資料を作成されました。



また、これに併せて、博物館の斎藤氏

が昭和21年に米軍によって撮影されたジョンソン基地や西洋館等を含む黒須地区の航空写真及び同地域の現状を示す地図(左掲)を配付されました。

例会ではこれらの資料を併読する中で活発な議論が交わされ、大変有意義な一夜となりました。



### 『石川家の人々』を読む会発足10周年記念グッズ作成を計画中です!

今年は本会発足10周年を迎えました。それを記念して、ささやかな記念グッズの作成を計画中です。先日の8月例会では、①マグネット ②付箋・メモ用箋 ③しおり ④クリアファイル(女性の持ち歩きもし易い小型のもの)等の候補が出されましたが、最終決定は次回に持ち越されました。いずれの場合も、西洋館や石川組製糸関連の写真史料を生かしたグッズとなる予定です。会ではこれまで皆様から戴いた会費や寄付金をできるだけ節約して使用して積み立ててまいりました。作成資金にはそれを充てさせていただきます。会員の皆様にも還元・配付させて戴き、残りは販売して会のPR及び活動資金の助けにする予定です。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年 9月25日(水) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 ①「労働婦人」p.121「2. 女黥」~ 報告者：齊藤祐司氏 ②『余滴』より：次回はお休み

\* 10月の予定表をお持ちよりください。

【ご報告】①本紙121号でお知らせしたように手術・入院のため紙面作成をお休みさせて戴いていた染井が退院・回復し、本号より作成に復帰しました。会員の皆様にはご心配をおかけしました。配付・郵送には“洋行”の石川洋子他があたることになりました。会員の皆様方には今後とも、ご理解・ご協力等よろしくお願ひいたします。

②12月1日(日)に入間市民会館(例年と会場が換わりますが)で行われる入間市生涯学習フェスティバルに今年も参加します。詳細は未定ですが、石川組製糸・石川家に関する展示をする方向で内容を検討中です。御期待下さい。



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

125

## NEWS

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 9. 27

### 2019年9月例会(9/25)齊藤祐司氏が「(石川組製糸工女及び近代日本工女らの衣食住について)」を報告

#### 日本近代(明治後期~昭和前期)の工女労働と生活の歴史から石川組製糸工女たちを検証する !

報告者・齊藤祐司氏は、『石川家の人々』の他、『日本の下層社会』(横山源之助著/以下『下層社会』と略)、『職工事情(上)』(明治33年農商務省刊/以下『事情』と略)、『女工哀史』(細井和喜蔵著大正14年刊/以下『哀史』と略)および石川三郎氏による『余滴』等の資料を丹念に読んで上で詳細で興味深いレポートをまとめられました。

以下に内容の一部を紹介します。

**衣**：仕事着(ユニフォーム)は、大正12年の鐘紡による制服制定以来ブームとなるが石川組製糸では特に定めず、会社作成の絵葉書でも右写真のように略装の着物姿である。髪型は、あまり盛らずに後ろでまとめている写真が石川組の



工場では見かけられる。(左下写真) 『石川組製糸ものがたり』展図録より工場の作業風景

**食**：石川ハツ氏のレポート(昭和10年)に示された食堂(工女たちは1日3食ここで食べる)の献立にはライスカレーや野菜の煮つけ、鮭、赤飯等も見られ、『事情』や『哀史』によって知られるそれよりもかなり良いようだ。ただし、生家では殆ど食せなかった食べ放題の白米が工女たちの脚気の原因となっていたことは皮肉ではある。

**住**：石川組製糸各工場の寄宿舎は概ね20畳の和室に15人が生活し、部屋を挟んで「髪結い廊下」と「通り廊下」がある。紡績の寄宿舎の中には同じスペースと布団を日勤・夜勤両シフトの工女が交代で使い、鍵のかかる押し入れ中の私物用行李の中だけが専有スペース(『事情』『哀史』)という会社も多かったことと比較すれば石川組製糸の寄宿舎環境は良い方だったと考えられる。

#### 『石川家の人々』を読む会発足10周年記念グッズは検討を継続!

前号でお伝えした「会発足10周年記念グッズ」の案として、西洋館やシルクラベル等石川組関係の資・史料を印刷した①B5判かそれよりも小さいサイズのクリアファイル②パウチして作るしおりセット③Tシャツ他が提案されましたが、見本や見積りを次回例会に持ち寄って決めることになりました。

#### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2019年10月25日(金) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 ①「労働婦人」p.124, 「5. 健康について」~ 報告者：染井佳夫氏 ②『余滴』より：次回はお休み

\* 11月の予定表をお持ちよりください。

【ご報告】①. 12月1日(日)に入間市民会館(例年と会場が換わりますが)で行われる入間市生涯学習フェスティバルに今年も参加します。内容は、石川組製糸と石川家に関する紹介展示(①『石川家の人々』を読む会ニュースでたどる当会10年のあゆみ②「さいたま絹文化研究会通信より)を展示する方向で内容を検討中です。御期待下さい。



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

# 126

# NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 11 1

## 2019年10月例会(10/25)で染井佳夫氏が「(工女たちの)健康について」を報告

### 石川組製糸工女たちと日本近代(明治後期~昭和前期)の工女一般の労働環境等から検証する！

報告者・染井佳夫氏は、『石川家の人々』(以下『人々』と略)の他、『女工哀史』(細井和喜蔵著/以下『哀史』と略)、『日本社会政策史』(昭和26年青木文庫刊)、『明治医事往来』(立川昭二著平成25年講談社学術文庫刊)、『時の流れに』(柳井潔著)等の資料を丹念に読んで上で詳細な報告をされました。以下に内容の一部を紹介します。

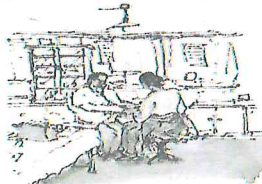
**病気の種類：**工女の病気としては、極端な多湿の労働環境から最多は鼻の病。また脚気も多かったようです。(『人々』)



右明細書本人の堀(高井)としを  
岩波文庫『わたしの「女工哀史」』

**結核による死亡率：**寄宿工女で千人中23人。これは一般の妙齡女子(12~35歳)の約3倍以上でした。(『哀史』p373)

**石川組製糸の医療施設：**石川組製糸の各工場の診察室には看護婦(当時)と午後に通ってくる医師がいた。右は『時の流れに』p35から本店工場診察室の挿絵。本店工場診察室には町内の小室医師が通っていました。



医療設備が整っていた石川製糸

西		東		南		北		計		計		計		計			
金	五	四	〇	四	八	二	七	〇	四	八	二	七	〇	四	八	二	七
四	〇	八	二	七	〇	四	八	二	七	〇	四	八	二	七	〇	四	八
八	二	七	〇	四	八	二	七	〇	四	八	二	七	〇	四	八	二	七

大正11年東京モリソ給料勘定明細書(『哀史』P181)

## 『石川家の人々』を読む会発足10周年記念グッズとして西洋館しおりを試作!

前号でお伝えした「会発足10周年記念グッズ」の案として、西洋館のスタンドグラスや照明機材等の資・史料を印刷した「しおりセット」を試作することが例会の中で決まりました。さらに検討を続けます。

## 『石川家の人々』を読む会次回…

期日 **2020年 1月27日(月)** **14:00~** (参加者の体調・都合等を考慮して、これまでと違う開会時刻としてみました。)

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
2. 内容 『余滴』より 報告者：三浦久美子氏 \*2月の予定表をお持ちよりください。  
\*11月は生涯学習フェスティバルの展示資料準備等のため、休会します。  
また、12月例会は「入間市の文化遺産をいかす会」と共催(予定)の忘年会に代えます。

【ご報告】① 12月1日(日)に入間市民会館(例年と会場が異なりますが)で行われる入間市生涯学習フェスティバルに今年も参加します。御期待下さい。内容は、石川組製糸と石川家に関する紹介展示①『石川家の人々』を読む会ニュースでたどる当会10年のあゆみ②「さいたま絹文化研究会通信より」を展示する方向で内容を検討中です。検討・準備を進めてきた複数の会員に健康上の問題も出来のため内容の一部変更があるかも知れません。

③ 既に御存知かも？ ドラマ「相棒」のタイトルバックに自由学園明日館ロケが毎週挿入されています。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

127

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2019. 11 18

2019年12月1日は生涯学習フェスティバル(入間市民会館)にお越し下さい!

『石川家の人々』を読む会10年のあゆみを「読む会ニュース」で振り返ります(予定)!

今年の入間市民会館で開催される第25回いるま生涯学習フェスティバルに、当会も参加します。今年の展示テーマは、発足以来10年を超えた記念の年にふさわしく、“『石川家の人々』を読む会ニュースで振り返る「…読む会」の10年間”です。この間、121回の例会を重ね、「入間市の文化遺産をいかす会」との共催で講演会等のイベントに取り組んで来ました。また、生涯学習フェスティバル等で独自に、更には会員個々人が様々に石川組製糸や関連する人物について発信してきました。それらの集大成展示となる予定です。

### S20.3 治安維持法で特高に追われる高倉輝(タカクラヒ)氏が石川源一郎氏宅に滞在?



11月16日、入間市博物館主催の西洋館講座でのことです。講演終了後に、上田自由大学の研究者 Y 氏という男性から貴重なお話を伺いました。上田自由大学の中心的な事務局メンバーだった「高倉輝氏(昭和20年3月6日に治安維持法違反容疑で特高警察に逮捕後脱走中)が豊岡町の石川源一郎氏宅で同月21日に再検挙された」という記事が『昭和特高弾圧史』(太平出版社 1975 年刊)にあるということです。後日、関連して哲学者の三木清氏等も逮捕されました。詳しい経緯は不明ですが、

▲左: 高倉輝氏 右: 若き日の石川源一郎氏 現代史への思わぬ関わりの発見でした。現在同書籍を取り寄せ中です。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 1月27日(月) 14:00~ (参会者の体調・都合等を考慮して、これまでと違う開会時刻としてみました。)

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『余瀆』より 報告者：三浦久美子氏 \*2月の予定表をお持ちよりください。

\*11月は生涯学習フェスティバルの展示資料準備等のため、また、12月例会は「入間市の文化遺産をいかす会」と共催(予定)の忘年会に代えるため、例会としては行いません。

生涯学習フェスティバルは 12月1日(日)

9:45より市民会館大ホールにて開会行事/9:30までに市民会館ロビーにお集まり下さい。

10:15~15:00 2階11号室にて展示(解説・情報収集・接客・他展示見学等)

15:00~15:15 大ホールにてフィナーレ その後展示片付け等

会員の皆さんは都合のつく時間帯に30分でも1時間、2時間でもお出で下されば有り難く存じます。

「…いかす会」との合同忘年会は : 12月6日(金) 18:00~ 於ジャイプール

会費 : 3,000円 お申込み期限は12月2日(月) 染井宛 ☎・mail 生フェス会場でも受付可

【情報】2月1~5日(土~水)に“小江戸川越『大地の園』まつり開催を発智会員が準備中/次号に詳報



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

128

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者: 会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行: 2019. 12. 6

2020(令和2)年2月1日(土)~5日(水) 於 小江戸蔵里ギャラリー(川越市新富町1-10-1)

### 小江戸川越『大地の園』まつりが開催されます!!



「打木村治の自伝的長編小説『天の園』『大地の園』NHK 朝ドラ化をすすめる会」主催による上記のイベントが開かれます。この取り組みは当会会員・発智金一郎氏の奮闘で準備されました。5日間連続した充実の取り組みです。寒さ厳しい季節ですが、小江戸散歩を兼ねてお出かけになってはいかがでしょうか? 各日の内容は下記  内に。

- 2/1(土) 10:30~12:00 開会セレモニーと講演「大地の園と石川組製糸」/講師・染井佳夫  
2(日) 10:30~12:00 アニメ「雲の学校」上映  
13:30~15:30 アニメ「雲の学校」上映と黒田昌郎監督のお話  
3(月) 伊藤ちよコンサート 1回目 11:00~12:00 2回目 14:00~15:00  
4(火) ① 11:00~12:00 講演「川越と私」/講師・小高利貞  
② 14:00~15:00 講演「霞ヶ関カンツリー倶楽部と発智庄平翁」  
/講師・発智金一郎  
5(水) たかはしべんコンサート 1回目 11:00~12:00 2回目 14:00~15:00



2019年12月1日、生涯学習フェスティバル終わる!

### 『石川家の人々』を読む会10年のあゆみが「読む会ニュース」で再構成されました!

今年が入間市民会館で開催された第25回いるま生涯学習フェスティバルで、当会も展示参加しました。「『石川家の人々』を読む会ニュースで振り返る「…読む会」の10年間」として121回の例会報告、「入間市の文化遺産をいかす会」と共催した講演会等のイベントや会員の講演会紹介や報告。齊藤祐司氏・山戸壽子氏・藤井のり子氏・石川洋子氏・長崎彩子氏らの活躍で良い展示が行われ、1名の入会希望者もありました。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 1月27日(月) 14:00~ (参会者の体調・都合等を考慮して、これまでと違う開会時刻としてみました。ぜひご参加を!)

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
2. 内容 『余滴』より 報告者: 三浦久美子氏 \*2月の予定表をお持ちよりください。

【情報】1月31日~2月1日(金~土)に第42回全国町並みゼミ川越大会(&川越都市景観シンポ)が開かれます。内容は、①1/31日(金)・まち歩きと分科会(第1~第6) ②2/1(土)川越都市景観シンポジウム/基調講演・陣内秀信氏「イタリアとの比較とこれからの日本・川越」および分科会報告・各地からの報告(入間市「…いかす会」にも報告要請あり) 主会場:ウエスタ川越 分科会場は市内各所(詳しくはHP <https://www.kuranokai.org/42machizemi/>)または裏面をご覧ください。

なお、分科会場マップ(『大地の園』まつり会場の蔵里ギャラリーを含む)等の資料を裏面に印刷しました。



「小江戸川越『大地の園』まつり会場の小江戸蔵里ギャラリーおよび

全国町並みゼミ川越大会主会場・各分科会場のマップ



全国町並みゼミ川越大会各分科会構成

第1分科会 喜多町会館で受付後アトレスペース・セブン(定員130名)

テーマ「歴史的都市環境をどう守るか?」

コディネーター:大倉宏(新潟まち遺産の会)

第2分科会 蓮馨寺講堂で受付後喜多町会館(定員50名)

テーマ「町並みはみんなで作る!」

コディネーター:西村幸夫(神戸芸術工科大学教授)

第3分科会 川越大蔵茶陶苑(定員150名)

テーマ「景観まちづくりがもたらしたものの住民と来訪者の良好なあり方とは?」

コディネーター:中村泰典(倉敷町家トラスト)

第4分科会 小島家住宅(定員50名)

テーマ「伝統的な技と心の継承・育成」

コディネーター:斎藤行雄(〔一社〕臼杵のんきや)

第5分科会 喜多町会館で受付後蓮馨寺講堂(定員70名)

テーマ「歴史的建造物の活用と地域社会の関わり」

コディネーター:佐久間康富(和歌山大学准教授)

第6分科会 Chabudai ちゃぶだい(定員20名)

テーマ「地域物件の個性を活かす編集力とエリアマネジメント実践」

コディネーター:國廣純子(青梅市タウンマネージャー)





# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

129

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

# NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2020. 1. 5

## 2020(令和2)年 あけましておめでとうございます

### 今年も『石川家の人々』を読む会(ニュース購読・例会参加)をよろしく!!



▲石川洋行母屋が例会場

昨年創設後10周年を迎えた『石川家の人々』を読む会は、毎月1回の例会を持っています。会場には創業者石川幾太郎氏の次男権吉氏に連なる旧家(石川洋行)を使わせていただいております。会費は、(毎月発行される本紙の)購読会員が2,000円/年、(例会に参加してレポートも入手できる)基本会員は3,000円/年です。現在の会員数は基本会員20人購読会員14人の計34人ですが、常時募集しておりますので興味をお持ちの方は題字下に記載の役員までご連絡ください。

### 山本鼎(信州で農民美術を普及、「上田自由大学」とともに歩む)を知っていますか!?

情報提供 2020年1月19日(日)、NHK E テレ「日曜美術館」で山本鼎かなえ(農民美術~自由学園)を紹介!

昨年5月の学園訪問時にお世話になった自由学園羽仁(吉一・もと子)両先生記念図書館・資料室の主任研究員村上民様から上記の情報提供がありました。

山本鼎(1882~1946)は愛知県岡崎に医師の子として生まれ、浅草に移住後版画工房に徒弟修業に入りましたが独創性を発揮できない職人に飽き足りず東京美術学校(現東京芸大)で西洋画を学びました。卒業後は美術文芸誌『方寸』を発行し、北原白秋らとも親交を結びました。1912年にはに渡仏、パリ滞在中に島崎藤村と交友。1916年ロシア経由での帰途、モスクワで児童画展や農村工芸品の展示会に立ち寄り大きな影



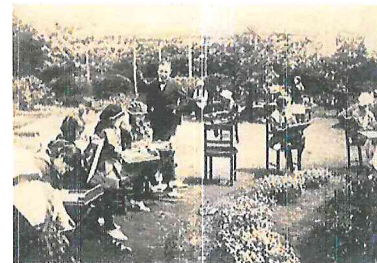
▲山本鼎

響を受けたようです。帰国後は白秋の妹・家子と結婚。長野県上田(当時は同県小県郡神川村)には父が医院を開業していたため、この地で児童自由画について講演するとともに、地元の篤農家金井正の援助を得て「農民美術研究所」を開き多彩な活動を始めます。その頃、金井が高倉輝(タカウ・テル)らと共に開講した上田自由大学と



▲与謝野鉄幹主宰の『明星』誌上に発表して注目を集めた作品「漁夫」

も、彼を通じて協力関係にありました。また1921年(大正10)から美術科主任として自由学園創立にも参加します。同時期に「豊岡大学」を開講していた入間市で活動する私達が大いに関心を持つべき人物と言えるでしょう。



▲自由学園での美術指導風景

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 1月27日(月) 14:00~ (参会者の体調・都合等を考慮して、これまでと違う開会時刻としました。ぜひご参会を!)

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『余滴』より 報告者：三浦久美子氏 \*2月の予定表をお持ちよりください。



沖ななも

春夏秋冬

歌暦

立冬 ①

山々の錦に郷土愛深め

石川信夫は1908(明治41)年、豊岡町、現在の人間市に生まれた。青年期にはモダンといふ新しい短歌の風潮を推進した一人だった。口語を使った、短歌的な叙情とはかなり違つて、モダンな歌になつてい

る。戦後間もない頃の歌だが、今読んでみても少しも古く感じがない。むしろ新鮮な驚きを感じないだろうが。

天国にもペンキ屋がいして、そ

のペンキ屋が焼くものどバケツに焼くまじうだ、なんじら羨望は、いまままで無かつた。このよつと言われとみるよ、山々の鮮やかな紅葉は、天国のペンキ屋だつたのかと、なんとなく納得してしまふ。

誰がどうもつて、あんなに山々を錦に染めるのか。ほんとは自然は不思議だ。人間以外のどつともない力をもつたものの仕業としか感えない。

紅葉は日本ばかりではないだろうが、やはり日本の美の象徴のよつである。

石川は戦時中、中国に派遣されていたこともあつて、帰国してから日本の野山を改めて見直すもつちが気持があつたのかも知れない。「ニッポンの野山」と大きく書いたところ、あたりには、いかに紅葉といつても特別な愛着が感じられ、外国から帰つたときは、肉側からだけでは見えないものが見えたりするところがある。

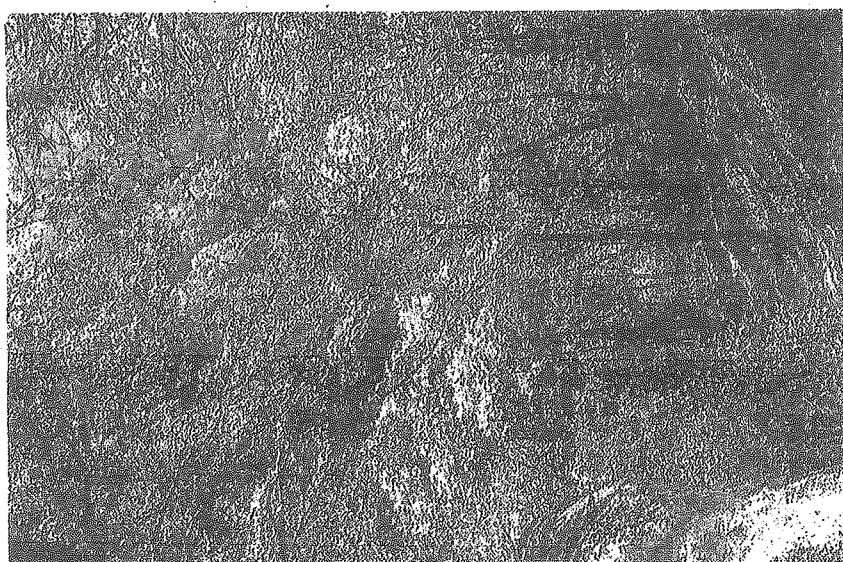
紅葉も書業も「しんぶん」と読む。紅葉は「もみぢ」とも読む。カエデの木のことをモミジともいふ。なんだかやわしいが、もともとはくすの木の草が秋になつて色づいたことを「紅葉」と書いたのだ。

古く時代には書業のほつちが一般的で、平安時代以降に紅葉と書くことが多くなつたといふ時代の好みもあつたかも知れない。書でも赤でも、あるいはどちらも交わつていふからこそ美しいのかも知れない。

金まきは一枚もなし柿紅葉拾はは拾つて拾はは棄つ

ななも

天国のペンキ屋バケツに焼くまじう  
ニッポンの野山目のまめる秋  
石川信夫



紅葉する木々＝秩父市(全日写真・古怒田潔)

沿線版への寄稿は〒340-0480・024-7952、Eメール(saitama@asahi.com)で。

\*石川信夫は、幾太郎の妹よりよとその夫保次郎の子  
早稲田大学仏文科に学ぶ歌人コクトーの翻訳も手がける  
戦後 草野心平・坂口安吾らと 飯能に遊ぶ



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

130

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2020. 2. 1

### 1月例会で三浦久美子氏が報告

## 入間市博物館に『群書類従』全666部中564部を所蔵の謎!!

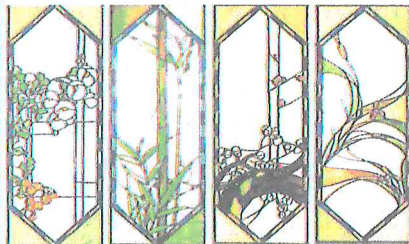
入間市博物館に『群書類従』全666部中の564部が所蔵されています。同書は、埼玉県児玉郡出身の盲目の学者・塙保己一が18世紀から19世紀に34歳からの40年以上をかけて正編～続編へと編纂された木版の叢書。続編・続続編と弟子たちに引き継がれた。明治維新时期に所在不明となった版木が明治42年(1909)に発見され、その翌々年から第1期、大正4年から昭和19年にかけて第2期の刷り立てが行われ、計210部が240円(現在の約524万円/1期)で頒布された。第2期の刷り立て



塙保己一

は、東宮職からの納本要請を記念して、「光栄記念」の朱印を冠して150部刷立頒布されている。この150部の頒布先中埼玉県入間郡では、石川幾太郎、発智太郎(庄平の長男)、遠山元一郎の名がある。(『成田市史研究』) この蔵書中の一部には「光栄記念」印がなく、代わりに「昭和十六年七月十三日豊岡国民学校職員寄贈」等のペン書きがあるため、幾太郎の遺志を継いだ教職員の存在も窺われる。この史料が旧黒須銀行(博物館開館以前の郷土民芸館)から発見されたことから、石川幾太郎が豊岡小学校内に設置された「在郷軍人分会及び青年団立豊岡図書館」に寄贈したものが、郷土民芸館に移管されていたのではないかと考えられます。(この発見に関して会員で入間市博物館職員三浦久美子氏の他同館職員安部清子氏の力がありません)

## 『石川家の人々』を読む会創立10周年記念グッズ(葉)見本ができました!



予てより「検討・試作中」と本紙上でお伝えしていた"当会創立10周年記念"グッズとしての西洋館およびその内部パーツの意匠写真を用いた「葉」の試作品が撮影者の齊藤祐司氏により披露されました。2階大広間のステンドグラスや各室の照明器具、階段手すりや家具・調度に



彫られた植物(葡萄や四君子=文人好みのデザインとして知られる蘭・竹・梅・菊)を撮影した写真を用いて、5枚セット×3組計15種の葉です。試作品を見た会員からは写真の美しさを讃えるとともに、撮影の苦労を労う声があがりました。紙幅の許す範囲内で、その一部(写真)を掲載します。

会員の皆様にはできるだけ年度内にお届けできるよう努力します。楽しみにしてお待ちください。

## 『石川家の人々』を読む会次回は...

期日 2020年 2月25日(月) 14:00～ 次回もこの時刻となりました。日中の例会開催となったことで、テキスト「労働婦人」著者阿部ハツさんの娘幸恵さんも参加されています。ぜひご参会を!

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
2. 内容 「(工女たちの)教育問題と宗教問題」 報告者：染井佳夫氏

\*3月の予定表をお持ちよりください。



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

131

## NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます

＊発行責任者：会長・染井佳夫(04-2936-3562)、幹事・齊藤祐司(090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2020. 3. 2

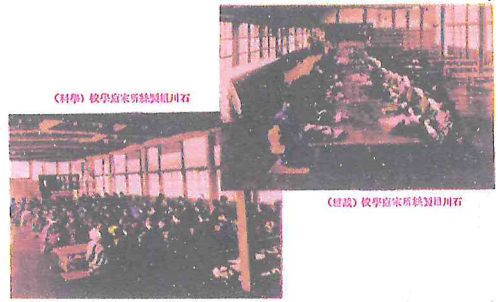
### 2月例会で染井佳夫氏が報告

## 「家庭学校」と「生活学校」、工女たちの学びの時期と内容は?!

『石川家の人々』9. 労働婦人(125頁)には「過去には『家庭学校』と稱するものがあり、一週に3～4日、作法、裁縫、生花、珠算、読み



書きを教え…」とあります。また、昭和10年秋からは幾太郎の孫娘(長男民三の娘)妙・嘉久により「工場生活学校」



が毎月・水・金・土曜の夜に開催されたことが、羽仁もと子・吉一夫妻発刊の「婦人之友」昭和11年1月号誌上に紹介さ

②『婦人之友』誌昭和11年1月号(自由学園蔵) れています。(写真②)

ところで、石川(後に千葉)嘉久が工女たちに本店大講堂の2階でデンマーク体操を教えている写真③があります。この写真を撮影年代の分かっている他の写真と比べた結果、『婦人之友』記者により昭和10年秋に撮影されたものと推察されます。



また、工女の(キリスト教)信仰に関連して、「牧師信者」「入信と受洗」

「牧師の異動・招聘」等についての質問が会員から出て、同席していたハツ③本店工場大講堂2階で工女たちにデンマーク体操を教える石川(後に千葉)嘉久

### 『石川家の人々』を読む会創立10周年記念しおりを4 or 5月に配付します!

本紙前号紙上でご紹介した当会創立10周年記念グッズの「西洋館しおり」の印刷が仕上がりました。「2階大広間ステンドグラス」「館内シャンデリア」「彫刻等のディテール」の3つのシリーズ各5枚ずつで全15枚です。裏面には解説が印刷されています。早ければ次号とともに会員の皆様にお届けします。ご期待ください。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 3月23日(月) 14:00～ 次回もこの時刻となりました。日中の例会開催となったことで、テキスト「労働婦人」著者阿部ハツさんの娘幸恵さんも参加されています。ぜひご参会を!

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 「(工女たちの)娯楽問題」(『…人々』p.126)～ 報告者：山戸壽子 氏

\*4月の予定表をお持ちよりください。

◆〈第3回〉高麗郡偉人伝「石川幾太郎展」が高麗神社と(一社)高麗1300により開催準備に入っています。

2020年8月23日(日)～8月30日(日) 会場：高麗神社参集殿2階 内容：①講演とトークセッション ②展示

③親子絹文化体験教室 ④史跡・文化財見学ウォーキング等を予定 /主催・高麗神社 \*詳細が決定後本紙上で続報します



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

132

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2020. 4. 1

3月例会は「新型肺炎」の流行を受けて中止しましたが……

『石川家の人々』を読む会創立10周年記念しおりを本号とともに4月中に配付します!!

標記「旧石川組製糸西洋館しおり」(全3シリーズ15種類)を会員の皆様に4セット(計60枚)ずつお配りします。リボン通し用の穴開け(パンチ)はしてありませんので、必要な方はご自身でお願いします。石川組製糸の隆盛を示す資料としても、またお友達等へのプレゼントとしても素敵ですね。



西洋館木彫ディテールシリーズ中の1枚▲

石川組製糸関連史料4点の市文化財指定を答申!! —文化財保護審議委員会—

入間市文化財保護審議委員会(委員長：枝窪邦茂氏 事務局：入間市博物館)により予てから検討されてきた「石川家土地台帳」(石川洋子氏蔵)「芳名帖」(石川嘉彦氏蔵)「筑前石川組関係書簡群」(入間市博物館蔵)「石川忠雄家文書」(同)を入間市指定文化財とする旨の答申が3月末に委員長から教育委員会に対して行われました。

教育委員会により答申に沿った決定がなされれば、これらの資・史料は市指定文化財(“市の宝・市民の宝”)として認知されることとなります。以下に、それら4点(の各々一部分)を写真でお示します。



「石川家土地台帳」  
(表紙)



「芳名帖」中の賀川豊彦  
(社会運動家)の揮毫と絵



石川東洋から石川  
民三宛の書簡



「石川忠雄家文書」中の石川組各工場からの  
大量の生産日報(私製ハガキ仕様)。798点の  
史料群は社業や世相に関する貴重なものです

「新型肺炎」の流行のため、「西洋館公開」の日程が変更になりました!!

3月中から開始予定だった旧石川組製糸西洋館の公開が、「新型肺炎」の流行を受けて中止されました。こうした市の行う事業だけでなく、今後は共催事業等にも影響が出る可能性もあります。今後の西洋館公開予定等については逐次本紙上でもお知らせしていきます。

『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 4月27日(月) 14:00~ 次回もこの時刻となりました。昼間の例会開催となったことで、テキスト「労働婦人」著者阿部ハツさんの娘・幸恵さんも参加されています。

ぜひご参会を!

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
2. 内容 「(工女たちの)娯楽問題」(『…人々』p.126)~ 報告者：山戸壽子氏

\*新型肺炎ウィルス感染は高齢者にとっては特に危険です。例会参加は万全の体調でお願いします。  
\*5月の予定表をお持ちよりください。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

## NEWS

133  
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2020. 4. 22

コロナウイルス蔓延により4月例会も中止となったため、齋藤祐司氏に寄稿戴いた原稿を下記に掲載します。

### 御法川工場川越乾燥所棟札（御法川工場川越乾燥所棟札の持つ意味）

御法川工場（みのりかわこうじょう）川越生繭（かわごえせいけん）乾燥所（第2図：以下「川越乾燥所」という。）の棟札（第1図）が、旧石川組製糸西洋館地下室の梁に貼り付けられていました（図3）。石川製糸所川越工場（第3工場）の前身はこの川越乾燥所ですので興味深いところです。

この棟札には川越乾燥所の建造について記されています。建立者は御法川直三郎と内藤平太郎で、「日本之名勝」（史伝編集所・明治33（1900）年晩刊：第2図）ではこの2名が工場の社員と記されています。大工棟梁に印藤吉五郎と関根松五郎（関根平蔵の父）、印藤平三郎で、大工に関根平蔵（旧石川組製糸西洋館の棟梁）が入っています。建物の上棟は明治33年3月4日となっています。汽缶（ボイラー）室1棟、汽機室1棟の2棟造で、乾燥室5個を備える。形状は切妻卸し。規模は、桁行19間3尺（35.5m）、梁間8間1尺3寸（約14.8m）、高さ13尺（約3.94m）、建坪206坪8合5勺（683.8㎡）となっています。

「日本之名勝」には、川越乾燥所は自社の生繭乾燥機をPRする模範的工場と記載されています。さらに新たに製糸場も建築中とあり、川越乾燥所創建直後から、製糸工場として整備されたことが分かります。

次に、御法川工場と石川製糸所の歴史を垣間見えます。御法川工場は、明治23年に御法川直三郎が自ら発明した蚕糸機械の製作・販売を目的に現文京区小石川で設立しました。明治33年に川越に川越乾燥所を建設。明治36年～明治37年には多糸繰糸機を発明（実用化に至らず：第4図）し、大正8年（1919）に多糸繰糸機を開発し（実用化）しました。この生糸は、昭和初期にミノリカワ・ローシルクとしてアメリカで絶賛されました。

石川製糸所は、明治26年、石川幾太郎によって設立（本店工場：第1工場）され、明治35年に新家工場（第2工場）が開設されました。明治36年に川越乾燥所を借りて操業、明治37年に乾繭機で乾燥野菜を製造し軍に納入していました。

明治40年に川越乾燥所を購入し、川越工場（第3工場：以下「石川川越工場」という。）としました。大正10年（1921）7月7日に迎賓館（旧石川組製糸西洋館）を建設（上棟）しました。

御法川川越工場について、「御法川直三郎翁自伝」（昭和8年（1933）刊）に、明治33年に管式乾燥機（第5図）を備えた川越乾燥所を造り、年々繭の委託乾燥を行った。乾燥野菜を考えて明治36年に陸海軍へ見本を提出し、明治37年連絡を受け、乾燥野菜を18か月間にわたり一月平均50余万貫匁を陸軍省へ納入したと記しています。

石川製糸所と御法川工場の関係は、2社の歴史、直三郎の自伝から、石川組製糸所が川越乾燥所を借りて、これを購入するまでの間、川越乾燥所（製糸業も）として操業していたことが伺われます。

この棟札は、石川製糸所と御法川工場の歴史を結びつける資料として貴重なものではないでしょうか。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

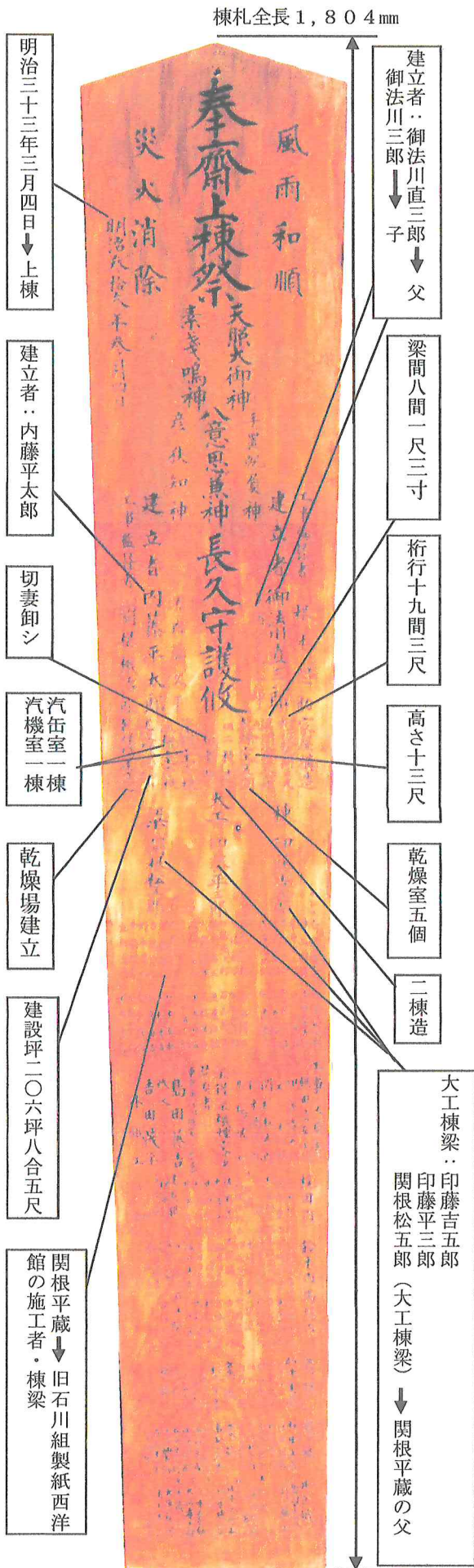
期日 2020年 5月31日(日) 14:00～ 入間市の人事異動により博物館職員だった会員の勤務日が変更になったため、次回からは例会を日曜日としました。新型肺炎蔓延の状況によっては5月も例会中止となる可能性があります。当面は毎月に見極めてまいります。テキスト「労働婦人」著者阿部ハツさんの娘・幸恵さんも参加されています。ぜひご参会を！

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
2. 内容 「(工女たちの) 娯楽問題」(『…人々』p.126)～ 報告者：山戸壽子氏

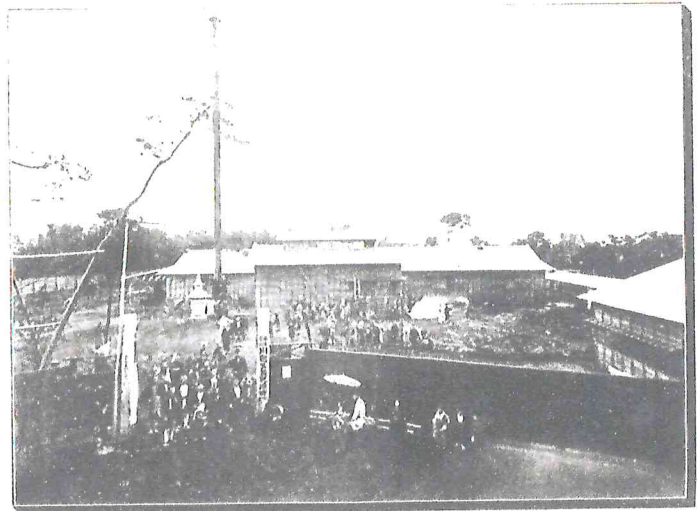
\* 新型肺炎ウィルス感染は高齢者にとっては特に危険です。例会参加は万全の体調でお願いします。  
\* 6月のご自身の予定表をお持ちよりください。

\*裏面にも齋藤祐司氏作成の貴重な資料が掲載されています。





第1図 御法川工場川越生繭乾燥所棟札 (入間市博物館蔵)

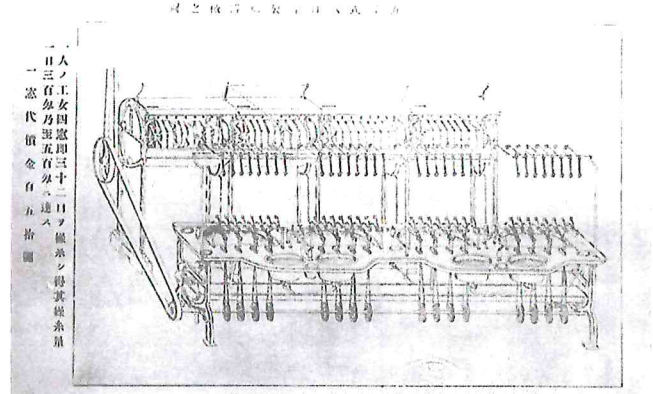


(武蔵) 川越生繭乾燥所

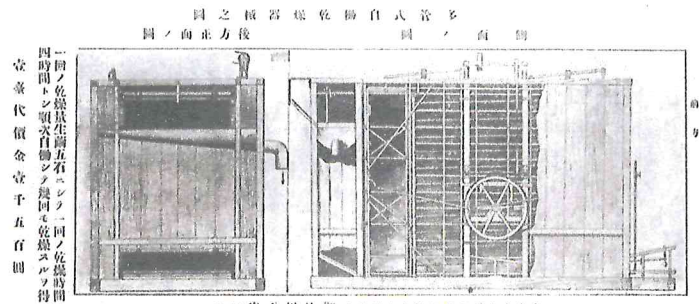
第2図 日本之名勝(明治33年刊行) 御法川工場川越生繭乾燥所 (国立国会図書館蔵)



第3図 棟札の西洋館地下貼り付け状況



第4図 1903年第5回内国勸業博覧会第8部 御法川直三郎出品の直繰式八口製糸器械



第5図 1903年第5回内国勸業博覧会第8部 御法川直三郎出品の多管式自動乾燥機



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

134

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (090-8775-6569), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2020. 5.23

新型コロナウイルス蔓延により5月例会も中止としました。6月こそ例会が開けると良いですね。

## 昭和4年(1929)、「武蔵野鉄道社長」として高麗神社を訪れていた石川幾太郎

高麗神社の手水舎の近くに来訪した著名人を示すたくさんの木札がかけられています。その中に「武蔵野鉄道株式会社社長」の肩書で石川幾太郎の名があります。高麗宮司の調べでは、他にも同行者が3人いたようです。それは

- ・佐倉孫三 警察官・漢学者 司法省に勤務し、中国・台湾でも14年間勤務 台南弁務所長 二松学舎塾頭等を歴任
- ・中里房吉 経歴等不詳
- ・中谷翫古 彩色木彫像の制作で知られる近代彫刻家(広島県出身)の3名です。記帳のある来訪者には打木村治や河上丈太郎等、興味深い名前が多数ありますが、詳細は調査依頼の上続報する予定です。



8月23日(日)～30日(日)、高麗神社(日高市)において

## 「入間郡・高麗郡の偉人 石川幾太郎展」を開催予定です！

毎年、高麗郡等“地域の偉人伝シリーズ”として地域に貢献した歴史上の人物を顕彰する展示を行っている高麗神社(昨年度は製茶機械の発明・普及に尽くした高林謙三についての展示会を実施)の主催で、「入間郡・高麗郡の偉人 石川幾太郎展」が下記の日程と内容で開催されます。新型コロナウイルスの蔓延の状況次第では開催の中止・延期・方法の変更(例:オンライン展示・講演会等)も可能性はありますので、今後逐次本紙上でもご報告する予定です。

1. 時期 令和2年(2020)8月23日(日)～30日(日) \*展示会は全期間を通して開催
2. 会場 高麗神社参集殿(日高市新堀833) ☎ 042-989-1403
3. 内容 8/23 13:30～ 講演会①「石川組製糸と石川家の人々」(講師：染井佳夫氏)

講演会終了後にトークセッションを実施/高麗文康(高麗神社宮司)・大野松茂(高麗1300 理事長)

8/23 座繰り糸挽き体験(織の音アート) 期間中の他の日にも実施することになるかも知れません

8/30 AM11:00～「大地の園」紙芝居(打木村治の自伝的長編小説『天の園』『大地の園』の朝ドラ化をすすめる会)

13:30～ 講演会②「養蚕、製糸、織物と女性」(講師：埼玉大教授 田村均氏)

講演会終了後にトークセッションを実施/高麗文康(高麗神社宮司)・藤井美登利(さいたま絹文化研究会)

## 「石川家の人々」を読む会次回は…

期日 2020年 6月28日(日) 14:00～

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては6月も例会中止となる可能性があります、その場合は電話連絡や本ニュースによりお知らせします。当面は毎月に見極めてまいります。

テキスト「労働婦人」著者阿部ハツさんの娘・幸恵さんも参加されています。ぜひご参会を！

1. 会場 豊岡ぶち大(入間市豊岡ユナイテッドシネマ入間のビル2階 アクセス問い合わせは☎ 題字下記載の携帯番号まで) できるだけお車は乗り合わせて！裏側から P に入れます。向かい側サイオスピル地階のスーパー「トライアル」での買い物1,000円以上で駐車券に2時間分の無料スタンプもらえます。

2. 内容 「(工女たちの)娯楽問題」(『…人々』p.126)～ 報告者：山戸壽子氏

\*新型コロナウイルス感染は高齢者や幼児にとっては特に危険です。例会参加は万全の体調・マスク着用 をお願いします。 \*7月のご自身の予定表をお持ちください。



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

135

## NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫(090-8775-6569)、幹事・齊藤祐司(090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当 | 発行：2020. 7. 1

### コロナ禍下、「3密」を回避して6月例会を開催 !! 「労働婦人」(昭和10年の石川レポート)より「娯楽問題」を精読 繊維産業に詳しい玉井氏のレクチュアで製糸(糸)と綿紡(綿)についても深まる

久しぶりの開催となった6月例会は初めての会場となる「豊岡ぶち大」(ユナイテッドシネマビル2階)で行われました。参加者は三浦・石川(洋子)・玉井・発智・染井の5名でした。急な事情で欠席された山戸氏作成の報告は、盆踊り・運動会・園遊会・演芸会から映画鑑賞までの様々な娯楽の詳細に及び興味深いものでした。『女工哀史』中の記述からの説明には、著者細井和喜蔵の妻・としをの勤務先の関係から綿紡績工場に関する記述が多いため、綿紡独特の原料・特性・機械等についての理解が必須なのですが、商社勤務の殆どを繊維関係一筋で終えられた玉井氏の説明で参加者の理解が進みました。



“豊岡ぶち大”での例会の様子 / 三浦氏撮影

今後の例会はコロナ禍がある程度収まるまで、こうした外部の広い会場で3密を回避して行うこととなります。

### 『石川家の人々』を読む会の昨年度決算・新年度予算を承認!

6月例会に併せて行われた『石川家の人々』を読む会総会において2019年度決算と2020年度予算案が承認されました。本号と一緒にお届けしますのでお読みください。昨年度決算の特色は“本会創立10周年記念”グッズのしおり(3種各5枚計15枚)の作成費用が含まれている点、予算案では、コロナ禍による例会中止によって郵送費が却って増えた(今後とも増える可能性がある)ことへの対応等が挙げられます。会費はこれまで通りの振り込みまたは例会へのご持参、最寄りの会員に託される等の方法でお寄せください。振込先口座等は、同封の予算書に記載してあります。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期 日 2020年 7月19日(日) 14:00~

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります、その場合は電話連絡によりお知らせします。当面は毎月に見極めてまいります。

テキスト「労働婦人」著者阿部ハツさん(旧姓石川)の娘・幸恵さんも参加されています。ぜひご参会を!

1. 会場 イルミン(入間市民活動センター・男女共同参画推進センター)\*6月の会場とは別  
\*未舗装ですが広い P ありますので、誘い合わせてお車で…。アクセスは入間市 HP からお調べください。

2. 内容 「(工女たち・工場の)風儀」(『…人々』p.127) 報告者：染井佳夫 氏

テキスト「労働婦人」は7月例会で読了となる予定です。「余滴」(石川三郎氏筆)は続けて読み進めますが、その他にも読みたいテキスト等のご希望があれば持ち寄りください。

\*新型コロナウイルス感染は高齢者にとっては特に危険です。例会参加は万全の体調・マスク着用 でお願います。 \*8月のご自身の予定表をお持ちください。

高麗神社主催 / 石川組製糸史跡ウォーキング 8月29日(土)AM 9時入間市駅北口集合 要予約

コース：入間市駅(→石川洋行(樂蔵・母屋)→武蔵豊岡教会→旧石川組製糸西洋館 西洋館見学後解散

\*前号でお知らせしたとおり、8月23日(日)~30日(日)高麗神社参集殿2階で石川幾太郎展を開催します。本紙の次号に詳細なチラシを同封する予定です。予約申し込みは8月1日~参加費500円は当日集金申し込み先 ☎ : 042-989-1403(高麗神社)



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

136

## NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (090-8775-6569), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2020. 7. 22

### コロナ禍下、「3密」を回避した7月例会を9人参加で開催 !! 「労働婦人」(昭和10年の石川レポート)を読了 !! “寄宿工女の風儀の乱れ”は『職工事情』記事の影響による誤解

例会再開2回目の7月例会は入間市市民活動センター(イルミン)を会場として行われました。参加者は前回よりも増えて9名、約2時間の例会は、かなり充実したものとなりました。報告者の染井佳夫氏は、テキスト「労働婦人」の最終節にあたる「8.風儀」について、①関口なつ著『遙かなる石川製糸』②村上信彦著『明治女性史』等を引きながら、“風儀の乱れた寄宿工女”のイメージが『職工事情』(明治36年農商務省刊)に収録された事例が当時のジャーナリズムによりくり返し引用されたことで広まった誤解ではないかと報告しました。『遙かなる…』や「労働婦人」(石川ハツ著)の記述にもその事例があります。また、工女の恋愛についても、「野麦峠の館」(岐阜県高山市立の資料館前館長・堀野徹夫氏より提供された資料により、河合村の郵便局員柏木為次郎氏が明治40年に諏訪で製糸工女をしていた同村出身の和嶋みよ子宛に出した恋文を紹介しました。なお、その後2人は結ばれ、老後の仲睦まじい写真も遺っています。



上左より和嶋みよ子、  
柏木為次郎、老後の  
2人、野麦峠旧道  
下：「誠に申兼ね候  
へ共貴女様の御写真  
一枚御送り下され度」  
とある恋文

私も配達を熱心に相勤  
め将来には何か目的  
を立度と思いい居り候  
間何か善き仕事  
でもあれば御知せ下  
され度願上候  
貴女様実母へ御用件  
是れあり候へば御え  
んりようなく何なり  
供も申越下れば御  
取次申可く候間御承  
知下され度候  
誠に申兼ね候へ共貴  
女様の御写真一枚御送  
り下され度此段御依  
頼申上候  
写真御送下さるかとい  
千秋の思いにて侍居り  
候

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 8月16日(日) 14:00~

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります、その場合は電話連絡します。

1. 会場 イルミン(入間市民活動センター)広い駐車場あり 住所：入間市豊岡4-2-2 ☎04-2964-2519

2. 内容 「戦時中の西洋館」(『余滴』NO.32) 報告者：三浦久美子氏

テキスト「労働婦人」は7月例会で読了となりました。当面「余滴」(石川三郎氏著)を読み進めますが、その他読みたいテキスト等あれば御意見をお寄せください。

\*例会参加は万全の体調・マスク着用でお願いします。\*9月のご自身の予定表をお持ちください。

\*8月下旬に高麗神社参集殿にて開催の「石川幾太郎展」は無料開催ですが、8月23日(日)と30日(日)の講演会、29日(土)の石川組製糸歴史散歩は8/1からの事前申し込みが必要です。  
申し込み先：☎042-989-1403(高麗神社)受付時間9時~17時



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

137

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (090-8775-6569), 幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2020. 8. 5

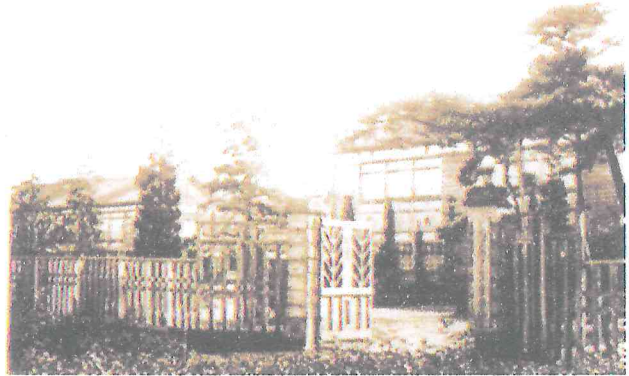
**コロナウィルス感染の拡大を受けて8月例会を中止します !!**

**川越・埼玉県の教育に尽くした石川仁平と石川幾太郎**

**今年には埼玉県蚕業学校(現川越総合高校)開校100周年**

『石川家の人々』の p.324 に、明治 40 年(1907)に御法川蒸気の乾繭所を正式に買い受けて開設された石川組製糸の第3工場長だった石川仁平についての記述があります。「県議在任中、川越盲学校・川越商業学校あるいは川越蚕系(マ)学校などの教育機関の設立に向けて尽力したのみならず、それらの学校運営に多額の寄付を行っている。また、川越蚕業試験場の招致にも、かなりの力を注いだ。」

また、p.331 には、仁平の長女満喜が「父・仁平が川越の盲学校の生徒のために…」幾太郎に頼んで



埼玉県蚕業学校(埼玉県立川越総合高等学校蔵)

(当時の金額で)何万円かのお金を寄付してもらったことを想起しています。満喜は打木村治の自伝的長編小説『大地の園』に“まり”の名で登場するヒロインのモデルですが、幾太郎が仁平ら兄弟の意見をよく聞いて企業経営や社会貢献を行っていたことが、その記述から窺えます。

埼玉県蚕業学校—県立農蚕学校—川越農蚕学校—川越農業高等学校と改称してきた現在の川越総合高等学校ですが、開校 100 周年を記念して「養蚕資料室」を新設し、有志職員と生徒による養蚕作業活動も行われているそうです。高麗神社での幾太郎展にも出展します。



石川仁平



石川幾太郎

『遙かなる石川製糸』

より石川仁平

**『石川家の人々』を読む会次回は…**

期 日 2020年 9月27日(日) 14:00~

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります、その場合は電話か本紙で連絡します。

1. 会場 イルミン(入間市民活動センター)広い駐車場あり 住所:入間市豊岡4-2-2 ☎04-2964-2519

2. 内容 「戦時中の西洋館」(『余滴』NO.32) 報告者: 三浦久美子 氏(中止になった前回の繰り延べ)

テキスト「労働婦人」は7月例会で読了となりました。当面「余滴」(石川三郎氏著)を読み進めますが、その他読みたいテキスト等あれば御意見をお寄せください。

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。\*10月のご自身の予定表をお持ちください。

\*8月下旬に高麗神社参集殿にて開催の「石川幾太郎展」は無料開催ですが、8月23日(日)と30日(日)の講演会、29日(土)の石川組製糸歴史散歩は8/1からの事前申し込みが必要です。

申し込み先: ☎042-989-1403(高麗神社)受付時間9時~17時

なお、参加者数が超過した場合、別室でテレビ中継放送を視聴するよう計画中です。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

138

入間市立図書館・各分館と久保庵、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\*発行責任者：会長・染井佳夫(090-8775-6569)、幹事・青藤花司(090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2020. 9. 7

9月例会は27日(日)に開催予定でしたが、コロナウイルス感染の拡大を受け、8月例会に引き続き中止とさせていただきます。

## 石川組製糸関連史料 入間市指定文化財に！！

入間市博物館 ALIT にて記念展示を実施(9/18~10/25)

「読む会 NEWS」第132号でお伝えした石川組製糸関連史料【「石川家土地台帳」(石川洋子氏蔵)、「石川家芳名帳」(石川嘉彦氏蔵)、「筑前石川組製糸関係書簡群」(入間市博物館蔵)、「石川忠雄家文書」(同)】が、2020年7月1日付で入間市指定文化財となりました！！

指定文化財となった事により、これらの史料がより多くの人びとに認知され、石川組製糸に関する研究の一層の進展が期待されます。

上記史料を現在管理している入間市博物館 ALIT では、文化財指定を記念し、9月18日(金)から10月25日(日)まで、エントランスにてミニ展示を実施する予定です。貴重な文化財を目にするまたとない機会となりますので、皆様是非お立ち寄りください。

〔右〕指定された史料の一部



【会場】入間市博物館 ALIT (住所：入間市二本木 100 ☎04-2934-7711) ※エントランスへの入場は無料

このたび、当会の染井佳夫会長が、再度のがん治療のため入院する事となりました。しばらくの間、「読む会 NEWS」の編集・発行は会員が手分けして行います。会報第138号の発行に際し染井会長より寄稿がありましたので、紹介します。

## 病床からの資料紹介『本多庸一～信仰と生涯～』

高麗神社で「石川組製糸と石川幾太郎」を講演した翌日(8/24)から、防衛医大病院に入院しました。講演会については、小会場ながら大盛況で、第2会場(同時中継)も含め、多くの来聴者に恵まれました。ありがとうございました。

さて、入院の翌日には第1回の抗がん剤投与(約3時間/点滴)が行われましたが、心配していた副作用も今のところほとんどなく、読書三昧の病床生活を送っております。

読書といえば、『本多庸一(以下略、上掲)』という400ページ程の書籍を少しずつ読み進めています。本多は幾太郎の弟・和助牧師の“師匠”ですから、『石川家家憲』や和助自身を理解するためには必須の人物の一人です。気賀健生氏の著した同書は、貴重な原史料からの長文の引用も多いため、読みづらい部分もありますが、それだけに厳密で説得力も有しています。

構成は「生い立ち(～戊辰戦争期における津軽藩士としての活動)」「横浜留学と入信過程」「東奥義塾・弘前教会等での活動」「仙台・東京(英和学校＝青山学院の前身)・アメリカでの活動」「青山学院長時代」「キリスト教界の指導者として」等々の章が立てられています。

さらには、日本メソジスト教会監督としての「公書」や演説、年譜他の史料も採録・掲載されています。石川和助の思想・人物理解をより一層深める上で、有意義な一冊と言えるでしょう。 染井佳夫 記

【書誌】

2012年11月16日  
教文館より初版刊  
気賀健生著  
青山学院大学『本多庸一』編集委員会編  
418ページ  
定価2,800円



## 『石川家の人々』を読む会次回は...

期日 2020年 10月25日(土) 14:00～

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります。その場合は電話か本紙で連絡します。

1. 会場 イルミン(入間市市民活動センター)広い駐車場あり 住所：入間市豊岡 4-2-2 ☎04-2964-2519
2. 内容 「戦時中の西洋館」(『余瀆』NO.32) 報告者：三浦久美子氏(中止になった前回・前々回の繰り延べ) テキスト「労働婦人」が7月例会で読了となったため、当面『石川余瀆』(石川三郎氏著)を読み進めます。その他読みたいテキスト等あれば、御意見をお寄せください。

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。

\*出席される方は、御自身の11月の予定表をお持ちください。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

139

## NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (090-8775-6569)、幹事・齊藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当 発行：2020. 11. 9

### 第5回高麗偉人伝 石川組製糸と創業者石川幾太郎展 開催報告

第5回高麗郡偉人伝「～日本有数の製糸会社をつくった男～ 石川組製糸と創業者石川幾太郎展 ー従業員愛護の経営理念と社会貢献ー」が、2020年8月23日(日)から30日(日)にかけて実施されました。当会の染井佳夫会長が展示内容の監修等に全面協力し、講演も行った本事業について報告します。

事業の中心となる展示については、高麗神社参集殿2階の大広間を会場とし、展示パネルや貴重な実物資料を数多く展示して、石川組や石川家、地域の発展を支えた養蚕業についてなどを紹介していました。展示初日の8月23日(日)には、染井氏による特別講演「石川組製糸と石川家の人々」を実施。講演後、高麗文康宮司をコーディネーターとして、高麗1300の大野松重理事長とのトークセッションも開催されました。講演会はコロナウイルス対策のため30名で満席となり、テレビモニターで聴講する席も設けられました。

8月29日(土)には関連事業として史跡さんぽも実施され、23名の参加者が、入間市駅北口より、楽蔵(石川洋行)・武蔵豊岡教会・西洋館をめぐるしました。当会会員も、コロナ対策に考慮しつつ、見学準備や見学者への解説を行いました。また、最終日の30日(日)には、打木村治の自伝的小説『大地の園』の紙芝居を通して、石川組や石川家の人々について解説するミニイベントも行われました。

コロナ禍の影響を受けつつも、石川組と石川家の人々について、多くの来場者の方々に知っていただく事ができた大変すばらしい展示でした。



10/25

### 3カ月ぶりに例会を開催！！

三浦久美子氏、

「石川余滴」より戦時中の西洋館について報告

10月例会は、入間市市民活動センター(イルミン)を会場とし、参加者4名で行われました。

西洋館は戦時中、陸軍航空士官学校の校長の宿舎となっていました。同校が開校した昭和13年(1938)12月から終戦まで、6代の校長(すべて中将)が住んだと思われます。そのうちの3名は以下のような人物です。

4代 遠藤三郎…戦後、航空士官学校跡地へ入植。非武装平和運動にまい進。日記が狭山市博に所蔵。

5代 菅原道大…沖縄作戦で特攻を指揮。戦後は飯能に住み、特攻隊員の慰霊・顕彰に尽くす。

6代 徳川好敏…明治43年に代々木練兵場において日本初の公開飛行をファルマン機で行った人物。

会員からは、出征前の石川三郎氏が菅原中将に面会できたのは通常あり得ない出来事で、石川みち氏が西洋館の大家であったためにできた珍しい逸話である、との話や、遠藤中将の娘さんと知り合いであったが初めて知った、中将は旧軍人として初めて日中友好の取り組みを始めた人として有名、との話などがありました。

「石川家の人々」を読む会次回は…

期 日 2020年 11月23日(月・祝) 14:00～

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります。その場合は電話か本紙で連絡します。

1. 会場 入間市博物館 ALIT 広い駐車場あり 住所：入間市大字二本木 100 ☎04-2934-7711

2. 内容 石川組・石川家関係の新収蔵資料について 報告者：平田光洋氏

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。

\*次回の日程調整を行いますので、御自身の12月の予定表をお持ちください。



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

140

号

入間市立図書館・各分館と久保庵、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

＊発行責任者：会長・染井佳夫（090-8775-6569）、幹事・齊藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2020.12.9

## 11月例会6名で実施

11月23日、「石川家の人々」を読む会の例会が入間市博物館で開かれ、同館学芸員の平田光洋氏が7月に入間市指定文化財となった「石川組製糸関係資料」についての解説を行いました。また、6月に石川嘉彦氏より博物館へ寄贈された新たな資料についても解説がありました。本号では、その内容も踏まえながら各資料について紹介します。



### 石川組製糸関係資料

「石川家土地台帳」（石川洋子氏蔵）・「石川家芳名帳」（石川嘉彦氏蔵）、「筑前石川組製糸関係書簡群」（入間市博物館蔵）、「石川忠雄家文書」（入間市博物館蔵）からなる。本年9月から10月にかけて実施された博物館のエントランス展示の内容などについて説明があった。これらの資料は、博物館へ寄託・寄贈された事により、より細かな調査・研究が可能となった。特に、「石川忠雄家文書」については、平成28年の特別展「石川組製糸ものがたり」において、読む会の協力により整理が始まったもので、特別展期間中には十分な整理ができなかったが、文書調査員による再整理が行われ、どのような史料があるのか、全貌が明らかとなっている。複数年代のものが確認できる史料については、比較研究等の進展が期待される。「工場日報」が、工場ごと、年代ごとに整理され、日々の生産量等をまとめるだけでも一研究となる。また、「女工募集出張記録」等、読み込んでいけば新たな情報を得られる可能性が高い資料も散見された。

### 石川嘉彦氏より新たに寄贈された資料

令和2年6月、石川本家の石川嘉彦氏より多数の石川組関係の資料が寄贈された。石川組の各工場が写された写真のアルバムや台紙付き写真、工場関係の書類がまとめられたファイルなど、これまで表に出ていない資料が多数存在する。特に写真については、今まで公開されていた写真とアングルが異なる写真や、写真が見つかっていなかった施設。複写写真のみが伝わっていてどこの場所かわからなかった写真なども発見され、極めて価値の高い資料であった。今後、石川組関係で行われる展示の折には、ぜひ活用したいところである。文書・写真の資料以外にも、石川家で使われていた揃いの茶碗や重箱なども寄贈された。これらは、美術工芸資料としての価値もあり、今後の活用が期待できる。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

期日 2020年 2月21日（日） 14:00～ ※12月の忘年会はおこないません

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります。その場合は電話か本紙で連絡します。

1. 会場 未定 詳細が決定次第お知らせします。
2. 内容 杉崎氏より、1月に刊行予定の著書から、石川組関係の解説。

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。

\*次回の日程調整を行いますので、御自身の予定表をお持ちください。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

141

入間市立図書館・各分館と久保庵、県須賀公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

号

\* 発行責任者：会長・染井佳夫（090-8775-6569）、幹事・齊藤花司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2021. 2. 8

## 【寄稿】 渋沢栄一と石川組の接点は？



（国立国会図書館「近代日本人の肖像」より）

12月の例会は、コロナ禍のため実施を見送りました。さらに2月の例会についても、緊急事態宣言の発出を受けて中止となります。今回は、例会開催報告に代えて、会員の三浦久美子氏より寄稿された、渋沢栄一と石川組との接点に関するレポートを紹介します。

2月14日から始まるNHK大河ドラマ「青天を衝け」。その主人公で、埼玉県の偉人である渋沢栄一と、同郷の大製糸会社石川組には接点があったのか、改めて調べてみた。

1. 石川家(本家)には、「青淵文庫」(1925〔大正14〕竣工。重文)前で渋沢栄一翁を囲む第13回海外植民学校卒業生の記念写真がある(入間市博物館へ寄贈)。台紙裏に、石川老翁(幾太郎か)に崎山比佐衛校長より贈られた旨の墨書がある。読む会 NEWS の16号・71号で取り上げているが、どんな関係で贈られたのかは今も不明である。崎山は、石川和助が青山学院の倫理教師時代の教え子で、和助との交友があった。
2. 渋沢史料館が公開しているデジタル版「渋沢栄一伝記資料」。「石川幾太郎」で検索すると3件ヒットする。

### ① 財団法人埼玉共済会

渋沢は大正8年(1919年)設立の埼玉共済会の創立や寄附金募集に尽力、没年まで顧問であった。昭和2年11月30日現在の役員名簿には、入間郡の理事として、発智庄平と石川幾太郎の2名が載る。

### ② 埼玉県入間郡豊岡町公会堂

渋沢は大正12年竣工の豊岡公会堂建設に際し千円を寄付し、開堂式に祝辞を送った。昭和2年には、この寄付により賞勲局から表彰された。この建築委員に「内村嘉七・原島茂七・水村金次郎・鈴木兼吉・石川幾太郎・田代巻三郎・長谷部兼三・小沢民蔵」が載る。なお、設計者は川越市の関根平蔵(西洋館の棟梁)。

### ③ 社団法人大日本蚕糸会

大正2年3月29日、小石川植物園で開かれた第8回総会で、伏見宮総裁から第一種功績章を授与されたのが「東京渋沢栄一・神奈川小野光景・埼玉県石川幾太郎・群馬県故田島弥平・長野県下村亀三郎」の5名だった。当日の来賓は山本農相以下二百余名、来会者千余名という盛大な会。幾太郎は褒章授受者総代として答辞をした。第一種功績賞は、蚕糸業の産業面で振興発展に顕著な貢献をしたものに与えられた賞で、この年が初回。なお「伝記資料」では渋沢が当日出席したかはっきりしない(数日前体調を崩している)。出席していれば二人に面識ができたと思われる。※神戸大学附属図書館デジタルアーカイブの「新聞記事文庫」では、幾太郎の答辞と功績が掲載された中外商業新報(1913. 3. 30〔大正2〕)を読むことができる。

3. 幾太郎が豊岡小学校の図書館に寄贈したという「群書類従」(光荣記念本)。頒布先は政財界の実力者が揃っているため、渋沢栄一の呼びかけが推測されている。第2次頒布分のリストに幾太郎の名がある。

4. 大正5年9月24日、渋沢は日本弘道会黒須支会秋季講演会のため豊岡に来た。弘道会の会員名簿によると終身会員である幾太郎は、当然参加したと思うが、会場や参加者などは不明である。

以上、現在把握している資料では、渋沢と間接的に繋がる事項しか見いだせなかった。ご存じの方がいたら会へ情報をお寄せいただきたい。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

142

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

## NEWS

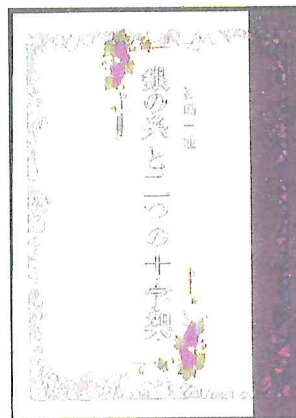
\* 発行責任者：会長・染井佳夫（090-8775-6569）、幹事・齊藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2020. 2. 8

## 当会会員 杉崎一雄氏

### 石川幾太郎・町田とくに関する大著を上梓

2021年1月15日、当会会員の杉崎一雄氏が、石川組創業者の石川幾太郎と、名栗村出身で石川組川越工場の看護婦として働き、後に「写真花嫁」として渡米した町田とく（渡米後は下村とく）という2人のキリスト者の歩みを描いた『銀の糸と二つの十字架』を自費出版されました。今回は、同書の内容についてご紹介いたします。

※町田とく…ドナルド・キーン『百代の過客(続)』において、「下村とく日記」で取りあげられた女性。同節冒頭には、「下村とく（1888-1968）という名前は、日本のどんなに詳細な人名辞典に当たってみても、おそらく見つけることはできないであろう。…だが彼女は、明治時代、あるいはそれ以後に、アメリカ合衆国その他の外地に移民した、数多くの日本人の典型的な人物なのである。」とある。



#### <同書の内容>

『銀の糸と二つの十字架』は、町田とく・石川幾太郎の歩みを、2人が生きた時代の地域の様子や、世界の様子を交えながらオムニバスのようにまとめたものです。その構成は、2人を育んだ武蔵野という土地を紹介するところからスタートし、「横浜開港と絹の輸出」「世界遺産富岡製糸場」「日本の資本主義を創った人たち」などの章で、石川組創業の背景にある日本の経済と製糸など産業について概観します。町田とくについては、その出身地である名栗村の紹介、看護婦への歩みを紹介し、彼女が看護婦として働いた日本赤十字社の歴史や従軍した日露戦争についても触れています。石川組ととくとを結びつけた町である川越の近代の様子や、川越鉄道・入間馬車鉄道、石川幾太郎も社長として経営を支えた武蔵野鉄道など、地域の鉄道の歴史についても紹介しています。全盛期の石川組の様子、不況下の鉄道経営など幾太郎を取り巻く激動の歴史。写真花嫁として渡米し結婚、移民として生活する中で迎えた太平洋戦争など、とくを取り巻く世界の荒波。2人の人生にある「愛」と「祈り」について、独自の世界観で考察を加えた一書です。

#### 『石川家の人々』を読む会次回は…

次回会合は2020年2月21日（日）開催予定でしたが、緊急事態宣言の延長に伴い延期となりました。次回の開催日程を、下記の通り変更させていただきます。

期 日 2020年 3月21日（日） 14:00～

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります。その場合は電話か本紙で連絡します。

1. 会場 市民活動センター（イルミン）

2. 内容 『銀の糸と二つの十字架』より、幾太郎の武蔵の鉄道経営について。報告者 杉崎一雄会員

\*本を欲しい方は齊藤幹事（上記電話番号）へお知らせください。会員には本代（1500円）の一部を補助します。

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。



# 「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

143

## NEWS

号

入場市立図書館・各分館と久保庵、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫（090-8775-6569）、幹事・齋藤花司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2021. 3. 7

### 3月例会は28日に変更！

※緊急事態宣言延長のため  
1週間延期します

【情報】

### 西洋館の門が復活！ 庭の整備、ステンドグラス修理も

今年、上棟から100年を迎える旧石川組製糸西洋館。国道の拡幅や区画整理のため、敷地が狭められ、茶室や門、庭の植栽などが失われていました。しかしこの度、補助金を得て工事が行われ、在りし日の面影をまた少し取り戻します。



After

今回の工事では、保管してあった裏門が移設・再建されたほか、茶室があった付近には、分解されていた石灯笼が組み直され、新たにベンチも設置されます。さらに、2階大広間のステンドグラス4枚について、ひびやゆがみの修理が行われます。かつての西洋館の庭については、例会でも取りあげましたが（読む会 NEWS 124号）、昔の庭の雰囲気、工事によってまた少し甦ります。



Before

なお、西洋館の今年の公開は、3月14日から始まります。渋沢栄一で注目の旧黒須銀行も3月14・15日に特別公開されます。

### 杉崎一雄会員の著書「銀の糸と二つの十字架」の購入について



前号で紹介した杉崎会員の著書ですが、今後数回の例会はこの本をテキストに行う予定です。本年度はコロナ禍の影響で例会があまり開催できず、他の活動もできませんでした。そこで、例会に出席できる・できないにかかわらず、本を購入される会員には、本代と送料を会費から補助します。1500円の本ですが、会員は500円で購入できます（補助は1人1冊まで）。407ページの本ですので、ご自宅でじっくりとお読みください。

【申し込み】電話で幹事の齋藤裕司まで TEL090-2326-7517

【お支払い】郵便振込（本と一緒に振込用紙を送ります）。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

3月21日→28日（日）14:00～16:00

※状況により変更の場合は電話連絡します

1. 会場 市民活動センターイルミン

2. 内容 『銀の糸と二つの十字架』より、幾太郎の武蔵野鉄道経営について。報告者 杉崎一雄会員

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。



## 幾太郎の鉄道経営 再評価へ

『銀の糸と二つの十字架』上梓の杉崎一雄氏による報告はじまる

3月28日、4か月ぶりに開催した例会は、染井会長も復帰して9名で行われました。報告者の杉崎一雄氏は、「石川幾太郎の鉄道経営」についての第一弾として、著書と飯能市史・飯能市郷土館図録の資料を使って、武蔵野鉄道設立から営業期間中の関係者や役員の動き、経済状況と営業成績などを概観しました。幾太郎は発起人の一人で、役員になった翌年の大正10年から7年半社長を務めました。この期間はすべて黒字で、旅客数は約10倍、創立以来最高の利益も上げています。しかし幾太郎の退陣後、経営は悪化します。吾野線と石灰採掘事業に幾太郎がゴーサインを出したことが批判され、社長としての幾太郎の評価は高くないようです。杉崎氏は、幾太郎の経営の基本は、電化・複線化や、豊島線・山口線という観光路線の新設などから、乗客サービスだったと指摘。幾太郎が社長になったのは石川組の絶頂期であり、鉄道経営にも自信があったのではないかと述べました。次回は、営業報告書からどんなことがわかるか読み解いていきます。

また当日は、発智金一郎氏から、高倉寺にある発智庄平（先代）が建立した石灯籠が元は発智家のところにあったことや、碑文について資料提供がありました。玉井康夫氏からは、山梨県南アルプス市内の旧家が所蔵していた「石川製糸所」に勤めていた女工さんからのハガキ4枚についての情報提供がありました。石川組と山梨県の関係は深いですが、山梨県側の史料が見つかったのは初めてかもしれません。玉井氏が回転まぶし調査で知り合った、同市教育委員会の今福律子氏が発見し、教えてくれたものです

速報！

### 入間市文化財保存活用基金ができました！

4月1日、貴重な文化財を、将来にわたり大切に保存していくため、また魅力あるまちづくりにつながる活用を行っていくため、その事業に必要な資金を積み立てる基金ができました。西洋館や旧黒須銀行、その他の指定文化財の保存整備に使われるものです。これに伴い、西洋館や博物館に募金箱が設置されました。また、ふるさと納税でもこの基金を選択できます。ご寄附やPRのご協力をお願いします！問い合わせの窓口は博物館です。

### 『石川家の人々』を読む会次回は…

4月17日（土）14:00～16:00

※状況により変更の場合は電話連絡します

1. 会場 黒須公民館 （いつもと場所が違います！）
2. 内容 『銀の糸と二つの十字架』より、幾太郎の武蔵野鉄道経営について2。報告者 杉崎一雄会員

\* 本と前回の配布資料もお持ちください。本を購入したい方は齊藤幹事へ電話を。

\* 例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。



# 「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

145

## NEWS

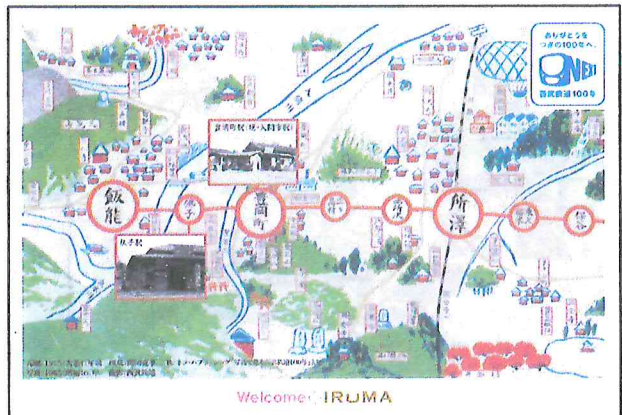
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます

\* 発行責任者：会長・染井佳夫 (090-8775-6569)、幹事・齊藤花司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当 発行：2021. 4.26

## 「石川幾太郎の鉄道経営」第2弾

4月17日、黒須公民館で開催した例会は、見学の方（その日入会された稲村貢氏）も含め9人で行われました。報告者の杉崎一雄氏は、鉄道路線と沿線の行楽地をPRする色刷りのパンフレットなどを紹介しながら、他の鉄道会社との比較で武蔵野鉄道の経営の特徴を説明しました。武蔵野鉄道は、他の私鉄のように住宅地開発や遊園地・百貨店経営をしませんでした。幾太郎が社長就任の前にこうした事業拡大のための定款変更が提案されたが、実現しませんでした。その経緯は不明です。杉崎氏は、幾太郎が社長を務めている間は、大不況や大震災で経済がたいへんでしたが、堅実な経営を目指したと述べました。また、発智会員からは参考資料として、入間馬車鉄道の文書や伊藤家(川越)の古写真の紹介もありました。



感染予防のため、広い部屋で間隔を取り、換気をしつつ開催し、触った場所の消毒をして終了しました。今年も新型コロナウイルスの流行状況を睨みながらの開催になり、急な延期もあるかもしれません。皆さまも体調に気をつけてお過ごしください。〈写真は入間市観光協会発行の絵はがき〉

### 【会費のお振り込みをお願いします！】

例会報告の前に、会計の三浦久美子氏から前年度の決算・監査報告と、今年度予算案が提案され、了承されました。会員の皆さんには予算・決算書を送ります。今年度も会費は、基本会員 3000 円、購読会員 2000 円です。申し訳ありませんが、振込手数料はご負担ください。

〈お振込先〉 ゆうちょ銀行

口座記号番号 00100-2-791138

「石川家の人々」を読む会（イシカワケノヒトビトヲヨムカイ）

他の金融機関から送金の場合 019 店 当座 0791138

### 【石川家の人々】を読む会次回は…

期 日 2021年 5月30日(日) 14:00~16:00

新型コロナウイルス蔓延の状況によっては例会中止となる可能性があります。その場合は電話か本紙で連絡します。

1. 会場 市民活動センターイルミン

2. 内容 『銀の糸と二つの十字架』より、幾太郎の鉄道経営について3 報告者 杉崎一雄会員

\*前回、前々回の資料をお持ちください。

\*例会参加は万全の体調・マスク着用をお願いします。

\*次回の日程調整を行いますので、御自身の予定表をお持ちください。